

# 12の構成資産

## ⑦黒島の集落(佐世保市)

平戸藩の牧場跡の再開発地に開拓移住することによって共同体を維持した集落



黒島天主堂は保存修理工事のため2018年11月～2020年10月末(予定)まで、敷地内の立ち入りが制限されます

## ⑨頭ヶ島の集落(新上五島町)

病人の療養地として使われていた島に開拓移住することによって共同体を維持した集落



## ⑪奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)(五島市)

禁教期に移住によって集落が形成され、解禁後に「潜伏」が終わったことを示す教会堂



## ⑧野崎島の集落跡(小値賀町)

神道の聖地であった島に開拓移住することによって共同体を維持した集落



## ⑩久賀島の集落(五島市)

五島藩の政策に従って島の未開発地に開拓移住することによって共同体を維持した集落



## ⑫大浦天主堂(長崎市)

潜伏キリシタンと宣教師との接触によって、「潜伏」が終わるきっかけとなった「信徒発見」の場所



## ①原城跡(南島原市)

「島原・天草一揆」の主戦場跡で、この一揆をきっかけにキリシタンが「潜伏」し、信仰を続ける方法の模索を余儀なくされた



## ②平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)(平戸市)

キリスト教が伝わる以前から信仰の対象であった山を拝むことによって信仰を実践した集落



## ③平戸の聖地と集落(中江ノ島)(平戸市)

キリシタンが殉教し、後に潜伏キリシタンから崇敬された島



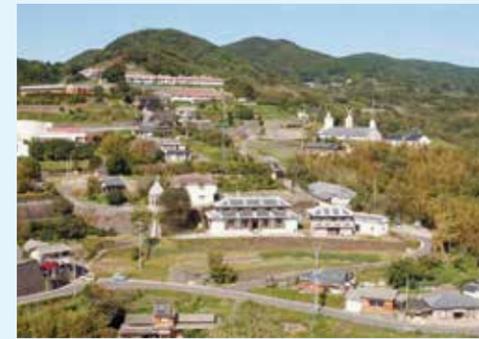
## ④天草の崎津集落(熊本県天草市)

貝殻など身近なものを信心具として代用することによって信仰を実践した集落



## ⑤外海の出津集落(長崎市)

キリスト教由来の聖画像を密かに拝むことによって信仰を実践した集落



## ⑥外海の大野集落(長崎市)

自らの信仰対象を密かに神社に祀り、それらを拝むことによって信仰を実践した集落



## おらしょー ころろ旅

長崎と天草地方には、12の構成資産以外にも日本におけるキリスト教の歴史を語る上で欠かせない教会堂や聖地、集落、城跡などが数多くあります。

それらを「長崎と天草地方のキリスト教関連歴史文化遺産群」としてウェブサイト「おらしょーころろ旅」で紹介しています。心に残るストーリーや旅コラム、祈りを伝える写真なども掲載していますのでぜひご覧ください。



日野江城跡(南島原市)



田平天主堂(平戸市)

おらしょー 検索

## 教会堂見学の事前連絡にご協力ください

世界文化遺産の集落内などにある教会堂の多くは今も「祈りの場」として使用されています。教会行事などにより見学できない場合もありますので、見学を希望する場合は、下記窓口へ事前連絡をお願いします。 ※ 大浦天主堂の見学は事前連絡は不要

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター」 ☎095-823-7650  
「おぢかアイランドツーリズム」 ※ 旧野首教会堂(野崎島) ☎0959-56-2646

問合せ 県の世界遺産登録推進課 ☎095-894-3171

潜伏キリシタン遺産 検索

県政テレビ番組「こちら県庁広報2課」で今回の特集を7月に放送しました。「よかテレ」をご覧ください。

よかテレ 検索

## 構成資産を保護するため、寄附をお願いします

各集落の人口減少や高齢化が進む中、教会堂の修復費用の負担が大きな課題となっています。そのため、県では皆さんからの寄附の受け皿となる基金を創設し、修復費用を助成しています。

長崎県 構成資産 寄附 検索

### 【修復の例】大浦天主堂



修復前



修復後

